



FAZENDA R O NEGRO ブラジル・パンタナル自然保護区

JELA OVERSEAS PARTNER ECOLOGDE HTロッジ協会海外提携HTロッジ

今回で3件目になる海外ケーススタディーはブラジル。コンザベーション・インターナショナルが1999年に買収し、生態系保護のために運営している宿泊施設。地元の協力を請い、地域密着型の保護活動をしている。パンタナル地区はブラジル、パラグアイ、ボリビアにまたがる約21万平米の湿地帯。この広大な土地の保護するために持続可能な観光、エコツーリズムを導入している。【施設】42人収容可能

【写真上】メインハウス：1920年に建設されたままの形で利用されている。スイートルームとして二部屋だけが用意されており、利用客のプライバシーを大切にしている。エアコン、プライベートバス完備。

ゲストハウス、リサーチハウス：スイート以外の宿泊客は100メートル離れたゲストハウスに案内される。1ベッドから6ベッドまで多様な訪問客数に対応できるように配慮されている。研究者として訪れた場合は4人1部屋のリサーチハウスを利用する。全ての部屋にエアコン、網戸完備。



パンタナル地区の約8割が自然保護区に指定されており、野生動物の宝庫として知られている。多様な生態系は植物約3,500種、鳥類432種、哺乳類124種、爬虫類177種、両生類41種、淡水魚325種が確認されており、この数を聞くだけで自然の豊かさが分かる。アマゾニアの影響を受ける特有な環境が多様で固有な生態系を生み出しており、パンタナル地区において淡水魚だけでも15の新種が確認されている。

ジャガーも生息しており、200キロにも及ぶこの生物は保護区に指定されるまで、ハンターによって乱獲され闇の市場で売買されていた。エコツーリズムという新しいコンセプトが教育を通じて浸透するにつれ、地元民はジャガーの重要性と保護の必要性を理解するようになった。

1990年にはパンタナル自然保護区の約0.6%にあたる14万6千ヘクタールの土地を保護目的で獲得、その後1999年以降はコンザベーション・インターナショナルが中心となりNGOと協力して運営しており、200人以上の科学者がパンタナル地区の自然保護に貢献している。

[アクセス]

ブラジルのMato Grosso do Sul県のAuiduanaから30分、またはCampo Grandeからは1時間のフライト。詳細はウェブサイトにて確認してください。



ファゼンダ・リオ・ネグロ FAZENDA RIO NEGRO
 (<http://www.fazendarionegro.com.br>)